



# 神出の樹

平成25年5月30日発行  
県立神出学園  
神戸市西区小束野30  
078-965-1122

毎月1回、主な行事を中心に、神出学園の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成25年第2号をお届けします。

長かったG.Wも終わり、急に暑くなった今年の五月ですが、今週辺りから早くも梅雨の気配が感じられる季節になってきました。この春入学した新入生も少しずつ学園に慣れてきて、みんなそれぞれに、一步一步前に進み始めたところだと思います。毎年心配される「五月病？」も今年はあまりなく、在園生とともに、毎日のプログラムに精を出している状況です。

## 5月の学園の様子

### <羊の毛刈りとかんで保育園児との交流会>



「これぞ五月晴れ！」という素晴らしい天気にも恵まれた5月15日（水）、日頃より交流を続けている地元のかんで保育園のかわいらしい園児を招待し、当学園職員の藤井さんの指導のもと、今年3歳になった羊のシロップの毛刈りを行いました。一年間伸びに伸びた沢山の羊毛で、少々暑苦しかったシロップもすっきりとスマート？になり、こころなしか、表情が嬉しそうにみえました。毛刈りのあとは、農園でのイチゴ狩り、体育館でのボール遊びなどを一緒に楽しみ、かんで保育園の園児たちも大喜びの一日となりました。そして、保育園の子どもたちの屈託のない笑顔に、学園生も職員も癒された一日でした。

また、この交流会の様子は、産経新聞と読売新聞に掲載され、兵庫ジャーナルにも大きく取り上げられました。

＜ 4 月号でご紹介できなかった、新たに着任された楠田副校長、森裏さん、林さん、加藤さんの神出学園の印象です＞

・楠田俊夫副校長・・・神出学園を一言で表現するなら、「ゆるきやら」。兵庫県の「はばタン」や熊本県の「くまモン」は、みんなに元気や勇気を与えてくれますね。私にとって、子どもたちを優しく、元気にさせる神出学園は、「ゆるきやら」のイメージそのものです。具体的な印象をあげるなら、次の3つ。1つ目は、桜が美しく咲いていること。2つめは「ゆず」たち動物が、のんびり生きていること。そして3つ目は、学園生が、個性にあふれていること。素晴らしい自然や人との出会いが、自分を成長させると 생각합니다。



グループワークPの様子

・森裏さん（保健師）・・・おいしい空気、馬や羊が仲良く歩いている広大な草原、鶯の声、ビオトープに流れる水の音、夕暮れの夕日、ローズマリーやミントのハーブ、芝生の間に咲いているたんぽぽ、緑の中を歩くとにっこりと微笑んでくれる山野草。こんな素晴らしい大自然の中で仕事ができることに喜びを感じております。山野草の名前を一つ一つ覚えたいのでみなさまぜひ教えてください。園生のみなさまやスタッフの方が笑顔で話しかけてくださったことにとても感謝しています。初心を忘れず、みなさまに寄り添えるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

・林隆一郎さん（総務スタッフ）・・・神出学園の印象として、まず「きれい」ということがあげられます。自然豊かな光景の美しさであったり、建物の景観、清潔感もあります。また「やわらかさ」という印象もあります。前述の美しい学園風景の中にゆっくりとのびのびと生活する学園生の姿や、それに対応するスタッフの姿には優しさが感じられ、かつ真剣さの中にも角が立たないやさしく温かい空間のように思えます。このような神出学園の特色と全国で唯一のフリースクールという位置付けという看板を合わせ持つ素晴らしい施設であると思います。

・加藤大策さん（教務スタッフ）・・・4月は桜の木が美しく咲きそろう自然いっぱいの中、期待と不安を抱きつつもみなさんの笑顔に癒されながら神出学園の坂道を登ったことを覚えています。楠寮・学園内では学園生・スタッフに神出学園のことを教えてもらい笑顔ではなしかけてくれたこと、本当に感謝しています。5月になり新緑の色増す季節となりました。未だ不慣れなこともあります、みなさんと一緒に楽しみながら歩んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。